

平成二十五年 度山上憶良短歌賞受賞作品一覧

(敬称略)

小学生の部

憶良賞 おとうさんいつもだっこをしてくれるひにやけたうでおうじさまみたい
 入選 おかしくて言ってる自分も笑ってるフィリピン生まれの母の日本語
 入選 赤ちゃんをだっこしたらドキドキがわたしの鼓動と合わさるふしぎさ
 入選 母の弾くピアノの音を聞きながら漢字練習ワルツのリズムで
 入選 ふらついてバンザイをしてまた一歩お母さんまであと二歩あるけ
 入選 学校でぼく見つけるとにらむ妹家ではすぐに寄ってくるのに
 佳作 じいちゃん集合場所まで歩く道私の一日始める儀式
 佳作 熱々のお鍋を囲み父さんが大根ほおぼりひびく大声
 佳作 妹を二人ひきつれお散歩へ絵下谷川の水鳥さがし
 佳作 真つ暗な夜空に光る花を見る消えてゆく花ぼろぼろと散る
 佳作 おかあさんこんやのおかずはなんですか豚肉巻き巻き一緒に作ろう
 佳作 がんばつたきようもせつせと風呂そうじ母がよるこび父はほめたり
 佳作 百四十五(四)のバーをフワリと跳びこして視界に入る母のガッツポーズ
 佳作 精米を家族総出でやりとげた明日の夕食新米たくよ
 佳作 母たちのおしやべり続く親子会子どものそんなおもいだして
 佳作 弟とラムネ飲みつつ大花火夜空いっぱい見上げ咳きこむ
 佳作 卓球でラリーしている母さんと心がかきようネットはさんで
 佳作 夏休み家族みんなでトロツコに窓全開で自然楽しむ
 佳作 「今朝はこれ。」と母手作りの餅を食べマラソン大会自己新ねらう
 佳作 休みの日家族と行った水族館魚をバックにきれいな写真
 佳作 雨がふり雨もりしてはいい音だ家族で書いたカラコロピチャン
 佳作 ベッドきて心がはずむ一人部屋少し寒くてさみしい夜

上灘小1年 日置 凜
 西郷小6年 北口佳彩鈴
 上北条小6年 藤本 幸
 上北条小6年 山本侑大
 上北条小6年 山田健真
 西郷小6年 加藤優希
 明倫小4年 太田鈴乃
 社小6年 岡部千紗
 上灘小6年 谷本茉結
 河北小6年 道上はるか
 灘手小2年 井上志織
 河北小6年 谷本葵一
 上北条小6年 川本健太郎
 北谷小6年 本莊みずき
 高城小6年 大田理央
 山守小6年 毛利奏太
 小鴨小6年 柳原武司
 河北小6年 山崎千聖
 上北条小6年 鎌尾祐汰
 成徳小6年 竹江妃菜
 関金小6年 村岡奨太
 上小鴨小6年 谷本花梨

中校生の部

憶良賞 家帰り校歌練習していると父母一緒に歌い始める
 入選 白い箱生涯おえておつかれさんおやすみなさいおじいさん
 入選 アレとってコレもとってソレとってアレコレソレで通じる会話
 入選 雪が舞う真夜中を行くライトオンハンドルにぎり父は出発
 入選 父と母出張先で絵馬を書く感謝が絶えない家族の応援
 入選 「これいいよ」親が差し出す本を読むなんで分かるの？俺の趣味まで
 入選 洗濯を取り込んでいる母の手が太陽のように輝いている
 佳作 暗い中家帰ると「おかえり」と母の言葉が私を照らす
 佳作 夜遅く帰宅してもリビングに無口で待つ影母のぬくもり
 佳作 お手伝い洗たく物を干したときほのかに香る母のにおいが
 佳作 反抗期過ぎて会話が増えたのに進路のことでまた減る会話
 佳作 おかあさん今日の夕飯なにがいらいらるれレタスこれ切ろうかな
 佳作 幼くてぐずる私をオンブした母の背中が小さく見えた
 佳作 「プレセント！」反りの合わない兄からの乱暴な声が少しかわい
 佳作 「宿題は」母から言われたひと言で「今からします」と敬語になる
 佳作 父さんといつもいっしょにキャッチボールねらってなげるぞ全ての球を
 佳作 日だまりの中で茶を飲む光景に笑みがこぼれる秋のふるさと

西中1年 牧田宥依
 久米中2年 河野慎吾
 河北中3年 福井剛貴
 東中3年 塩川圭吾
 河北中3年 大羽杏奈
 東中2年 横山 裕
 西中2年 酒井慶太
 東中3年 石原優生
 河北中3年 横山愛実
 河北中3年 入江奈々
 西中2年 清水省吾
 赤碕中2年 吉田咲羅
 湯梨浜中3年 石津裕梨
 後藤ヶ丘中2年 高梨和香
 赤碕中2年 川上雄大
 鴨川中2年 高久雅輝

高校生の部

憶良賞 突然に母のその手は冷えたけど記憶に残るその手のぬくもり
 入選 食卓に八つの茶碗が並ぶ夕げ下は十五で上は百四
 入選 孫がないパジャマ姿でおばあちゃん目の前にいる孫に向かって
 入選 子に親に祖父母までもが皆くせ毛朝の鏡に絶えぬ行列
 入選 弟が母に叱られ苦笑い説教続く僕の名前で
 入選 歩いたね小さな2人で長い道右には車左は右手
 佳作 いらないういよ私が伸びた姉のぶん身長差は20センチも
 佳作 六時半いつもの声で目が覚める朝陽に香るコーヒートの湯気
 佳作 雪深みスコップ片手に父と一人無言の二時間汗が光らん
 佳作 帰り際木の枝のようなじいちゃんの手を握る「また会おうね」と
 佳作 山の嶺は白く染まりて伯耆富士我が家族を恋しく思う
 佳作 O型の五人の毎日大騒ぎ迷惑している亀の万年
 佳作 なんでかなドラマチックに書けないや家族におくる感謝の手紙
 佳作 兄帰省いつも変わらぬ笑顔ありだけど見るたび変わる髪色
 佳作 小さくて愛らしかった弟の手ですくう水俺より多し
 佳作 どんな日もまず先に言うただいまを玄関で待つ二匹の猫に
 佳作 雪起こし雷の音聞く度に思い出される姉との喧嘩

倉吉東高2年 桑田湧也
 倉吉北高1年 井上妃捺子
 倉吉西高2年 今西優希
 倉吉東高2年 藪 彩夏
 倉吉北高2年 石井晋暉
 倉吉西高1年 山田結衣
 倉吉総産高3年 堀内裕美
 湯梨浜高1年 木村恭崇
 倉吉東高2年 野口侑太
 倉吉西高1年 吉田脩平
 倉吉農高1年 飴山優香
 倉吉西高2年 長石柚香
 倉吉西高2年 音田悠希
 倉吉東高2年 杉森彩花
 倉吉北高1年 岩間慶乃亮
 倉吉東高2年 西本聖菜
 倉吉北高1年 磯江真綺

一般の部

憶良賞

おさな児が隠れるような箱に入り胡蝶蘭来る マイバースデイ
 呼ぶ母のよこにかがまりみる蝸牛(まいまい)晴れくる庭に二人でうたう
 わが投歌初めて載りし新聞を握りて逝きぬ母九十五歳
 入選 旅先から家族に宛てて日に一枚絵葉書を書く今日はルーブル
 入選 婆さんの声援受けて爺と孫「歳と」徳(ん)神(ん)の山車引く過疎化の村に
 入選 月見ではベリヤの子に思い馳せ逝きたる母よ今宵満月
 入選 卒業の記念写真に膝そろえ並びしさまの母若かりき
 入選 四世代のヤツデ、カエデのごとき手で餅丸めれば初春來たり
 佳作 大家族の一人一人を送り終え七百坪地に瓜、茄子を植う
 佳作 毎朝の天気予報で確かめる子供等の住むそれぞれの空
 佳作 通院の父を待ちがてプランコを揺らす幼に手を添(こ)う母は
 佳作 寄り添いてひとつに見える夫婦(ふたり)でも家族と言うらん秋の夕暮れ

東伯郡三朝町 本間温子
 倉吉市 谷本邦子
 鳥取市 佐々木弥生
 東伯郡三朝町 木島良子
 米子市 岩根 昇
 倉吉市 三好和恵
 鳥取市 上嶋東木
 米子市 生田麻也子
 倉吉市 長谷川文子
 東伯郡琴浦町 北野恵美子
 倉吉市 岸根京子
 倉吉市 福井陽子